

環境経営レポート

活動期間：2022年4月～2023年3月

作成日：2023年6月30日

改訂日：2023年7月24日

目 次

1 組織の概要	P-1
2 対象範囲	P-2
3 環境経営方針	P-3
4 環境経営目標	P-4
5 環境経営計画	P-5~6
6 環境経営目標の達成状況及び評価	P-7~10
7 環境経営計画の実施状況及び評価	P-11
8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	P-12
9 代表者による全体評価と見直しの結果	P-13

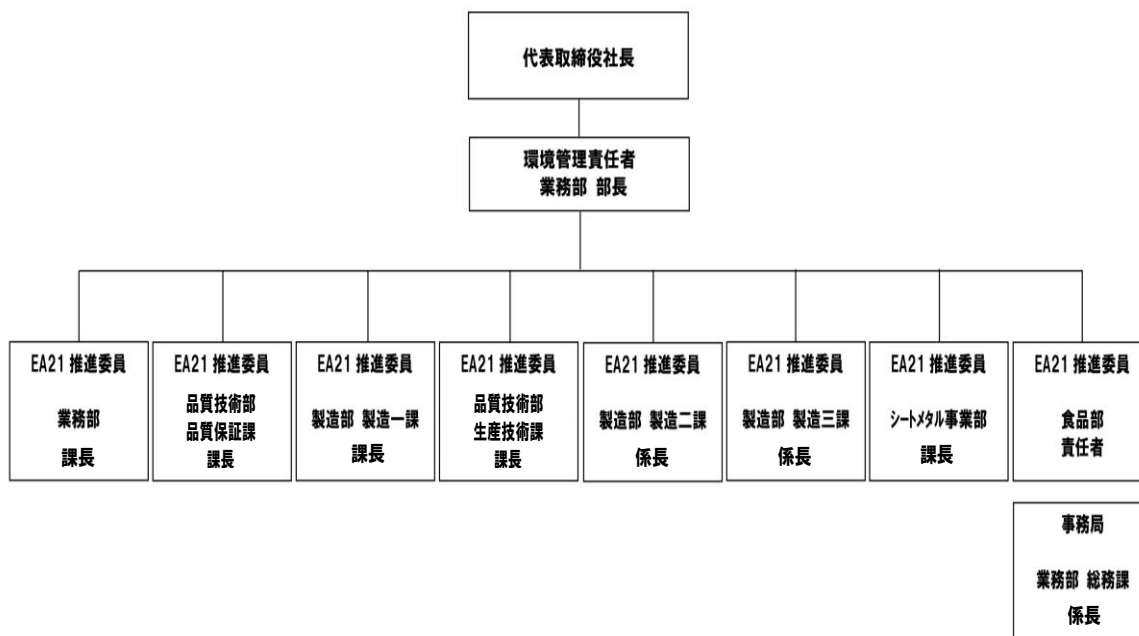
1. 組織の概要

☐ 会社概要

事業所名	株式会社 マスダ
代表者名	代表取締役社長 増田 博
所在地	
◆本社	〒399-4301 長野県上伊那郡宮田村 6689-1 TEL 0265(85)2086 FAX 0265(85)4277
◆東京事務所	〒193-0832 東京都八王子市散田町 5-15-12 秋山ビル 105 TEL 0426(82)1370 FAX 0426(82)1371
◆宮田とうふ工房	〒399-4301 長野県上伊那郡宮田村 6638-3 TEL 0265(84)1102 FAX 0265(85)2411
事業内容	医療機器・光学機器・空気油圧機器等の部品加工と組立。 精密部品加工用治工具・一般製造組立。 パイプ曲げ・銀ろう付加工。 シートメタル事業部 …… パンチ・レーザー複合機・曲げ・溶接加工。 食品部『宮田とうふ工房』…… 地元産大豆使用食品製造・販売。
資本金	1,500万円
述べ床面積	5,362.8㎡
従業員数	220人
環境管理責任者	業務部 部長 井上 大助

2. 対象範囲

□ 実施体制



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、環境推進委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
環境推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 環境に関する内部監査の計画 環境に関する内部監査の実施・報告
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3. 環境経営方針

環境経営方針

株式会社マスダは、精密部品の製造・組立、及び大豆食品の製造販売にあたり、大気汚染・省エネルギー・廃棄物の低減を重点とした、環境保全に取り組んで参ります。

また、自然環境に優れたこの地域の模範となるべく、社員一人一人が環境に対しての意識を高め、地域の環境改善、環境に配慮した生産に取り組めます。

1. 環境関連の法令、政令、条例を遵守し、環境保全に努めます。
2. 省エネルギー、廃棄物の低減及びリサイクルに取り組み、環境に配慮した生産に取り組めます。
3. 汚染の防止に努め、地域の環境に配慮します。
4. 会社全体にて取り組んでいる5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)を継続し、より良い環境での生産に努めます。
5. 環境経営方針に基づき、環境経営目標を定め、環境経営計画に沿って活動します。また、定期的に見直しを実施します。
6. 環境経営方針を全従業員に周知させ、環境教育を実施し、環境保全に対する意識の向上に努めます。

2018年4月1日
株式会社マスダ
代表取締役社長 増田 博

4. 環境経営目標

□ 2021年度実績（基準値）

	単 位	実 績 値
二酸化炭素(CO ₂)排出量	kg-CO ₂ /1,000万円	5,522.60
廃棄物排出量	kg/1,000万円	精密部品部門 54.32
		食品部門 17.99
水資源投入量	m ³ /1,000万円	40.54
食品廃棄物再生利用等の実施率	%	91.2
化学物質使用量	kg/年	946.47
グリーン購入 【県内産原料商品の販促】	売上金額/月 達成率(%)	88.71
製品・サービス 【不良損金】	実績金額/月 達成率(%)	33.62

□ 2022年度～2024年度目標（短期、中長期目標）

		今年度目標		
	単 位	2022年度目標 (基準値に対し1%削減)	2023年度目標 (基準値に対し2%削減)	2024年度目標 (基準値に対し3%削減)
二酸化炭素(CO ₂)排出量削減	kg-CO ₂ /1,000万円	5,467.37	5656.20	5598.49
廃棄物排出量削減	kg/1,000万円	71.59	88.26	87.36
水資源投入量削減	m ³ /1,000万円	40.14	47.90	47.41
食品廃棄物再生利用等実施率	%	92.1	93.00	94.00
化学物質使用量削減	kg/年	937.01	927.54	918.07
	単 位	2022年度目標	2023年度目標	2024年度目標
グリーン購入 【県内産原材料商品の販促】	売上金額/月 達成率(%)	100	100	100
	単 位	2022年度目標	2023年度目標	2024年度目標
製品・サービス 【不良損金の削減】	実績金額/月 達成率(%)	100	100	100

5. 環境経営計画

業務部

2022 年度活動内容/目標	具体的施策・維持活動	管理資料	日程計画											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<廃棄物排出量削減>														
ゴミ分別の徹底	現状の維持管理		維持活動	→→→										
紙使用量の削減	現状の維持管理		維持活動	→→→										
<CO ₂ 排出量削減>														
冷暖房の温度設定管理	現状の維持管理		維持活動	→→→										
休憩、不使用時の照明消灯	現状の維持管理		維持活動	→→→										
※ 方針展開計画による		方針展開計画書	別紙による	→→→										
<水資源投入量削減>														
上水道・井水の使用量削減	現状の維持管理		維持活動	→→→										
<化学物質使用量削減>														
使用物質調査、使用量の把握、管理の確認	月1回、使用物質調査、使用量の把握、管理の確認													
<グリーン購入・製品サービス>														
出荷・物流の不具合防止	チーム方針展開書による	方針展開計画書	別紙による	→→→										

環境内部監査

来期活動計画の見直し

品質技術部

2022 年度活動内容/目標	具体的施策・維持活動	管理資料	日程計画											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<廃棄物排出量削減>														
ゴミ分別の徹底	ゴミ箱の状況確認・社員への周知		維持活動	→→→										
紙使用量の削減	両面使用(裏紙)の推進・情報のメール伝達		維持活動	→→→										
<CO ₂ 排出量削減>														
冷暖房の温度設定管理	室温基準で温度管理		維持活動	→→→										
休憩、不使用時の照明消灯	見回り・社員への呼びかけ		維持活動	→→→										
停車時のアイドリングストップ	表示箇所のチェック・呼びかけ		維持活動	→→→										
※ 方針展開計画による	個人目標の設定と達成	方針展開計画書	別紙による	→→→										
	不具合品の問題提起と確認	方針展開計画書	別紙による	→→→										
<水資源投入量削減>														
上水道・井水の使用量削減	表示箇所のチェック・呼びかけ		維持活動	→→→										
<化学物質使用量削減>														
使用物質調査、使用量の把握、管理の確認	月1回、使用物質調査、使用量の把握、管理の確認													
<グリーン購入・製品サービス>														
不具合発生時の情報出し	不具合箇所の情報出し、波及等のフォロー	方針展開計画書	別紙による	→→→										

環境内部監査

来期活動計画の見直し

製造部

2022 年度活動内容/目標	具体的施策・維持活動	管理資料	日程計画											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<廃棄物排出量削減>														
ゴミ分別の徹底	朝礼等での周知		維持活動	→→→										
紙の使用量削減	コピー用紙両面使用		維持活動	→→→										
<CO ₂ 排出量削減>														
冷暖房の温度設定管理	暖房22℃(室温基準で管理表示)		維持活動	→→→										
休憩、不使用時の照明消灯	節電表示箇所チェック、周知		維持活動	→→→										
夜間作業時、作業場所の照明消灯	節電表示箇所チェック、夜間作業者への周知		維持活動	→→→										
※ 方針展開計画による		方針展開計画書	別紙による	→→→										
<水資源投入量削減>														
上水道・井水の使用削減	節水表示箇所のチェック、周知		維持活動	→→→										
	手洗い時の水垂れ流し防止の呼びかけ		維持活動	→→→										
<化学物質使用量削減>														
ホワイトガンロン使用量の削減	リサイクル品の利用促進													
	使用後は揮発を防ぐ蓋をする													
<グリーン購入・製品サービス>														
クレーム件数0件														
不良率削減	品質の各チーム目標に準ずる	方針展開計画書	別紙による	→→→										

環境内部監査

来期活動計画の見直し

シートメタル事業部

2022	年度活動内容/目標	具体的施策・維持活動	管理資料	日程計画												
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
<廃棄物排出量削減>																
	ゴミ分別の徹底	表示・朝礼等での周知・指導		維持活動	→	→										
	紙の使用量削減	コピー用紙両面使用		維持活動	→	→										
	リサイクル出来ない金属の削減	端材・スクラップゴミの徹底		維持活動	→	→										
<CO ₂ 排出量削減>																
	冷暖房の温度設定管理	暖房22℃(室温基準で管理表示)		維持活動	→	→										
	休憩・不使用時の照明消灯	節電表示箇所チェック、周知(不使用時消灯)		維持活動	→	→										
	納品・外回りの集約化・見直し	納品先等への配車・順番等、都度打合せ		維持活動	→	→										
	運転時の急ブレーキ・急発進防止	車両等への表示チェック、周知		維持活動	→	→										
	停車時のアイドリングストップ	車内等への表示チェック、周知 外注等への周知		維持活動	→	→										
	※ 方針展開計画による		方針展開計画書													
<水資源投入量削減>																
	上水道・井水の使用量削減	水場の節水表示チェック、周知		維持活動	→	→										
<化学物質使用量削減>																
	灯油使用量の削減	暖房器具のフィルター清掃・温度管理の徹底														
	<グリーン購入・製品サービス>															
	顧客クレーム0件	品質の各チーム目標に準ずる	方針展開計画書	別紙による	→	→										

環境内部監査

来期活動計画の見直し

食品部

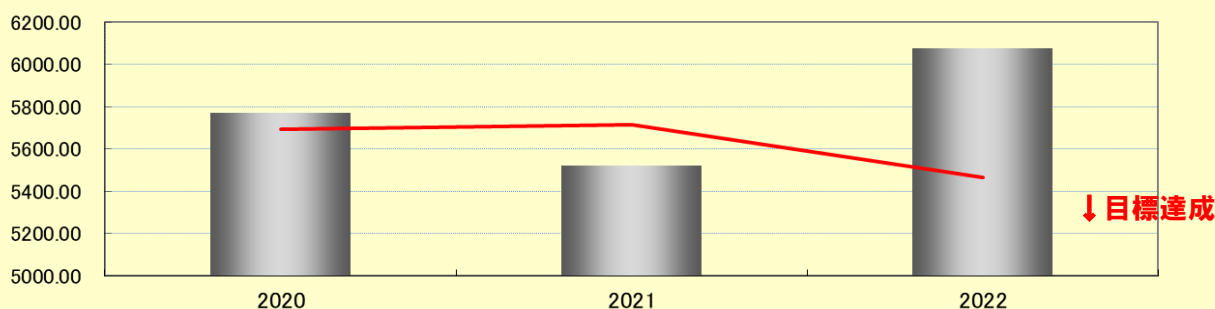
2022	年度活動内容/目標	具体的施策・維持活動	管理資料	日程計画												
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
<廃棄物排出量削減>																
	ゴミ分別の徹底	ミーティング等での周知		維持活動	→	→										
	紙の使用量削減	コピー用紙の両面使用		維持活動	→	→										
	二次加工品の試作・商品化	惣菜アイテムの種類を増やす														
<CO ₂ 排出量削減>																
	冷暖房の温度設定管理	暖房22℃(室温基準で管理)		維持活動	→	→										
	休憩・不使用時の照明消灯	節電表示・周知		維持活動	→	→										
	運転時の急ブレーキ・急発進防止	車両等への表示・周知		維持活動	→	→										
	停車時のアイドリングストップ	車両等への表示・周知		維持活動	→	→										
	製造工程改善による電気使用量削減	改善可能なアイテムの策定と工程の見直し														
<水資源投入量削減>																
	上水道・井水の使用量削減	節水表示・周知		維持活動	→	→										
<食品廃棄物再生利用等実施率>※食品部のみ																
	おから返品商品の肥料・飼料化															
	乾燥おからの生成															
	二次加工品の試作・商品化	惣菜アイテムの種類を増やす														
<化学物質使用量削減>																
	灯油使用量の削減	ボイラー稼働時間の管理・暖房の温度調整														
	<グリーン購入・製品サービス>															
	県内産原料商品の販促															

環境内部監査

来期活動計画の見直し

6. 環境経営目標の達成状況及び評価

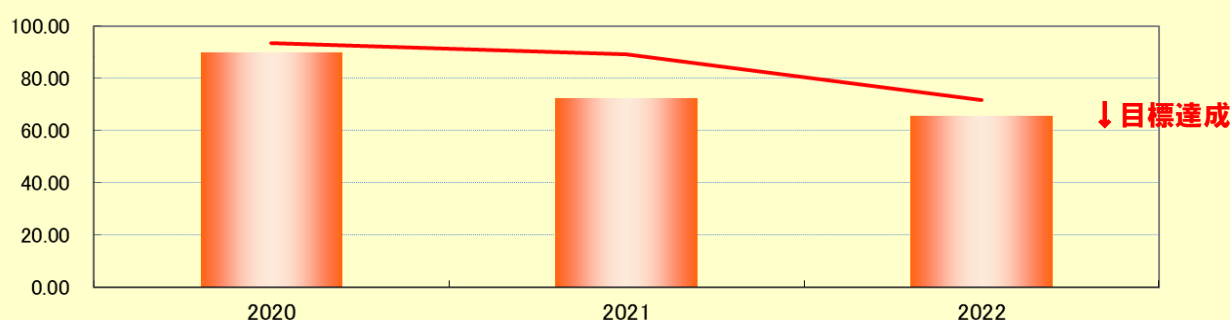
二酸化炭素(CO₂)排出量(kg-CO₂/1,000万円)



◇ 二酸化炭素(CO₂)排出量 ◇ 購入電力(中部電力)調整後排出係数 0.480 (kg-CO₂/kWh)

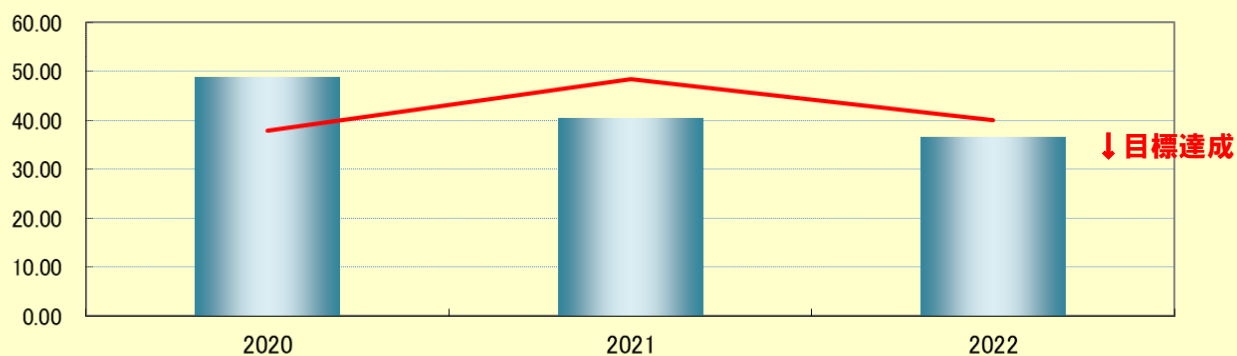
	2020年	2021年	2022年
目標値	5,692.82	5,713.92	5,467.37
実績値	5,771.64	5,522.60	6,075.80
総排出量	1,657,480.64	1,782,944.77	2,035,477.47
達成率	98.6%	103.5%	90.00%
評価	B	A	B

廃棄物排出量(kg/1,000万円)



◇ 廃棄物排出量 ◇

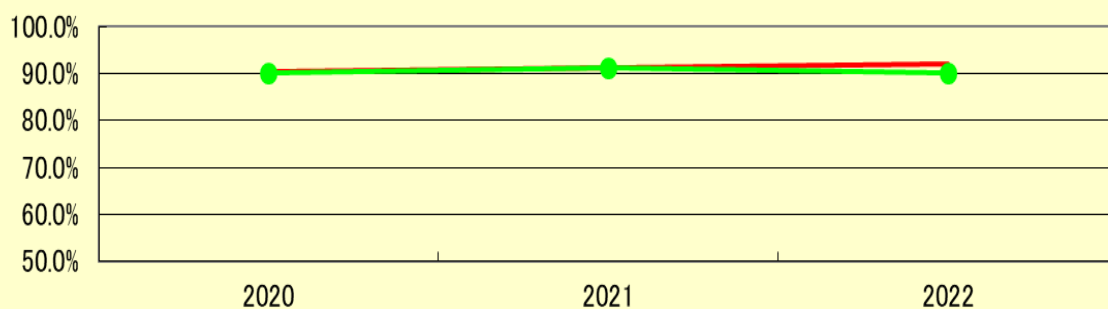
	2020年	2021年	2022年
目標値	93.38	89.16	71.59
実績値	65.76	54.32	45.05
精密部門	65.76	54.32	45.05
実績値	24.31	17.99	20.65
食品部門	24.31	17.99	20.65
全社合計	90.07	72.31	65.70
総排出量	28,451.2	28,181.6	25,898.2
精密部門	28,451.2	28,181.6	25,898.2
総排出量	7,202.3	5,957.5	6,918.7
食品部門	7,202.3	5,957.5	6,918.7
全社合計	35,653.5	34,139.1	33,274.6
達成率	103.7%	123.3%	109.0%
評価	A	A	A

水資源投入量 (m³/1,000万円)

◇ 水資源投入量 ◇

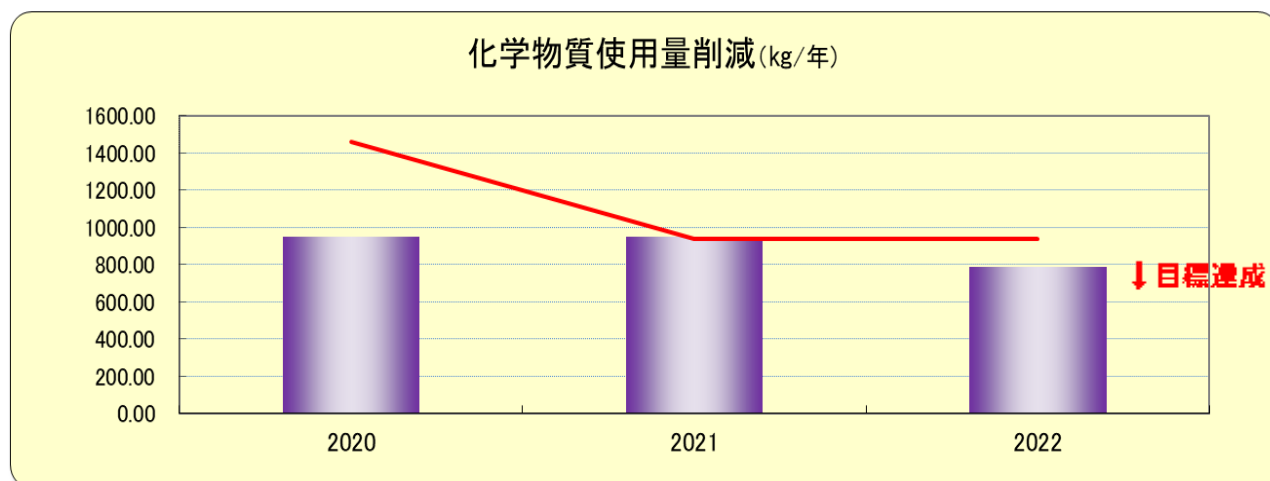
	2020年	2021年	2022年
目標値	37.91	48.39	40.14
実績値	48.88	40.54	36.54
総投入量	14,037.30	13,311.00	12,246.00
達成率	77.6%	119.4%	109.8%
評価	C	A	A

食品廃棄物再生利用等実施率 (食品リサイクル率)



◇ 食品廃棄物再生利用等の実施率 ◇

	2020年	2021年	2022年
目標値	90.6	91.2	92.1
実績値	90.3	91.2	90.1
達成率	99.7%	100.0%	97.8%
評価	B	A	B



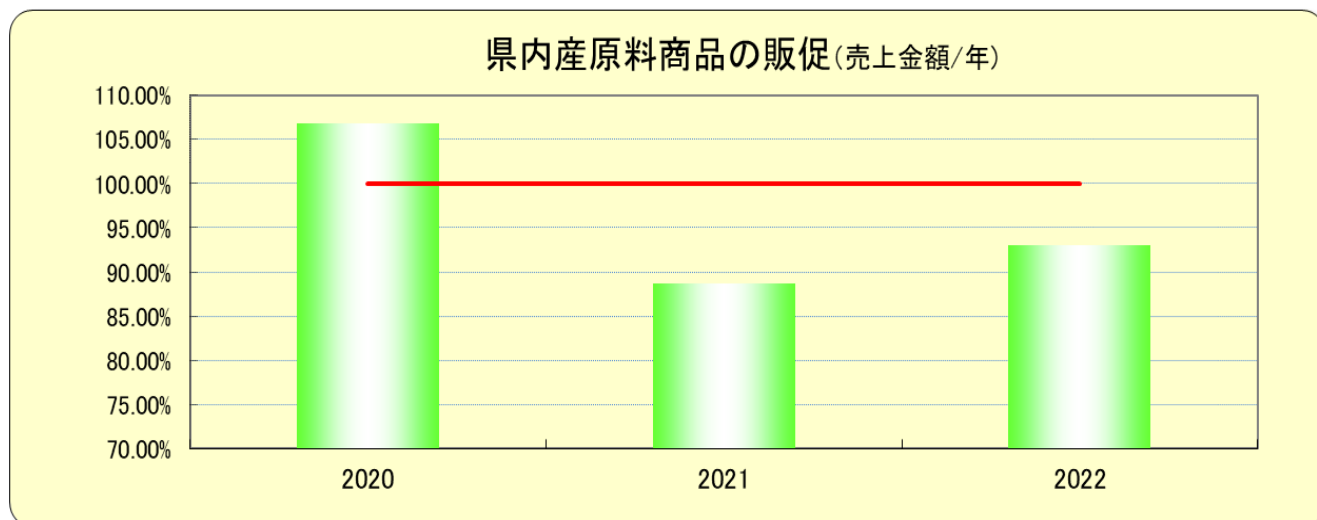
◇ 化学物質使用量削減 ◇

	2020年	2021年	2022年
目標値	1,457.34	937.00	937.01
実績値	951.51	946.47	786.47
達成率	153.2%	99.0%	119.1%
評価	A	B	A



◇ 製品サービス【不良損金の削減】◇

	2020年	2021年	2022年
目標値	100%	100%	100%
達成率	64.88%	33.62%	29.29%
評価	C	C	C



◇ グリーン購入【県内産原料商品の販促】◇

	2020年	2021年	2022年
目標値	100%		
達成率	106.79%	88.71%	93.03%
評価	A	C	B

7. 環境経営計画の実施状況及び評価

業務部

2022	年度活動内容/目標	具体的施策・維持活動	実施状況
	<廃棄物排出量削減>		
	ゴミ分別の徹底	現状の維持管理	○
	紙使用量の削減	現状の維持管理	○
	<CO ₂ 排出量削減>		
	冷暖房の温度設定管理	現状の維持管理	○
	休憩・不使用時の照明消灯	現状の維持管理	○
	※ 方針展開計画による		方針展開計画書
	<水資源投入量削減>		
	上水道・井水の使用量削減	現状の維持管理	○
	<化学物質使用量削減>		
	使用物質調査、使用量の把握、管理の確認	月1回、使用物質調査、使用量の把握、管理の確認	○
	<グリーン購入・製品サービス>		
	出荷・物流の不具合防止	チーム方針展開書による	方針展開計画書

評価	各職場での管理業務の時間削減をメインに1年間取り組むことができた。 新規個注品の展開にデジタルツールを使う事で急な休み時でも現在の進捗状況を確認できるようになった、現在はある程度新規品の取込み工数が落ち着いている為負荷を分散させなくても対応出来ている。デジタルツール使用ルールについては使用頻度を上げ窓口担当にて検討（ルール決め未達成）
次年度の取組内容	来年度は生産管理の業務改善に取り組む。 デジタルツール使用ルールについては使用頻度を上げ窓口担当にて検討（ルール決め未達成）

品質技術部

2022	年度活動内容/目標	具体的施策・維持活動	実施状況
	<廃棄物排出量削減>		
	ゴミ分別の徹底	ゴミ箱の状況確認・社員への周知	○
	紙使用量の削減	両面使用(裏紙)の推進・情報のメール伝達	○
	<CO ₂ 排出量削減>		
	冷暖房の温度設定管理	室温基準で温度管理	○
	休憩・不使用時の照明消灯	見回り・社員への呼びかけ	○
	停車時のアイドルストップ	表示箇所のチェック・呼びかけ	○
	※ 方針展開計画による		方針展開計画書
	<水資源投入量削減>		
	上水道・井水の使用量削減	表示箇所のチェック・呼びかけ	○
	<化学物質使用量削減>		
	使用物質調査、使用量の把握、管理の確認	月1回、使用物質調査、使用量の把握、管理の確認	○
	<グリーン購入・製品サービス>		
	不具合発生時の情報出し	不具合箇所の情報出し、波及等のフォロー	方針展開計画書

評価	日程管理と進捗確認の徹底。特急案件は、常務による生産調整と汎用チーム等での迅速な対応。高負荷時は、客先納期に影響がない範囲での日程調整の協力を関係各所にして貰う事で達成。 大量不良に焦点を当て、重点職場巡回実施。品質強化月間とも連動させた。
次年度の取組内容	来期以降も引き続き、フローに従い設計ミスを出さない活動と日程の管理を行い納期遅れを出さない活動を継続する

製造部

2022	年度活動内容/目標	具体的施策・維持活動	実施状況
	<廃棄物排出量削減>		
	ゴミ分別の徹底	朝礼等での周知	○
	紙の使用量削減	コピー用紙両面使用	○
	<CO ₂ 排出量削減>		
	冷暖房の温度設定管理	暖房22℃(室温基準で管理表示)	○
	休憩・不使用時の照明消灯	節電表示箇所チェック、周知	○
	夜間作業時、作業場所の照明消灯	節電表示箇所チェック、夜間作業者への周知	○
	※ 方針展開計画による		方針展開計画書
	<水資源投入量削減>		
	上水道・井水の使用削減	節水表示箇所のチェック、周知	○
	<化学物質使用量削減>		
	ホワイトガソリン使用量の削減	リサイクル品の利用促進	○
		使用後は揮発を防ぐ蓋をする	○
	<グリーン購入・製品サービス>		
	クレーム件数0件		
	不良率削減	品質の各チーム目標に準ずる	方針展開計画書

評価	計画的な多能工化により、シフト出勤を実施し稼働拡大。工数改善・品質改善による全数検査の廃止や停滞品削減。生産管理との編成打合せ実施による機械停止時間の削減。中途採用者の基礎教育OJTによる多能工化の実施。教育実施により旋盤加工のながれが良くなり、目標値以上の取り込み成果が出た。
次年度の取組内容	不良率に関して、室温管理・機械安全管理を実施したが、位置ずれ、バリ問題に課題がある。今年度のデータを参考に来期は不良率を下げる活動を実施する。

シートメタル事業部

2022	年度活動内容/目標	具体的施策・維持活動	実施状況
	<廃棄物排出量削減>		
	ゴミ分別の徹底	表示・朝礼等での周知・指導	○
	紙の使用量削減	コピー用紙両面使用	○
	リサイクル出来ない金属の削減	端材・スクラップゴミの徹底	○
	<CO ₂ 排出量削減>		
	冷暖房の温度設定管理	暖房22℃(室温基準で管理表示)	○
	休憩・不使用時の照明消灯	節電表示箇所チェック、周知(不使用時消灯)	○
	納品・外回りの集約化・見直し	納品先等への配車・順番等、都度打合せ	○
	運転時の急ブレーキ・急発進防止	車両等への表示チェック、周知	○
	停車時のアイドルストップ	車内等への表示チェック、周知 外注等への周知	○
	※ 方針展開計画による		方針展開計画書
	<水資源投入量削減>		
	上水道・井水の使用量削減	水場の節水表示チェック、周知	○
	<化学物質使用量削減>		
	灯油使用量の削減	暖房器具のフィルター清掃・温度管理の徹底	○
	<グリーン購入・製品サービス>		
	顧客クレーム0件	品質の各チーム目標に準ずる	方針展開計画書

評価	購入品の目標金額に対し7.7%削減を達成。技術標準書の作成、それを基に教育の実施。M/バー-異動により生産性の弱い工程へのテコ入れを実施。5S・識別管理活動により工程内不良率目標値達成。
次年度の取組内容	受注量減少に備えた営業活動・超勤削減・他部署編成応援を実施。若手・中堅社員への教育・勉強会の実施。思い込み作業の撲滅と部品の出来栄の確認の実施による不具合流出の削減

食品部

2022	年度活動内容/目標	具体的施策・維持活動	実施状況
	<廃棄物排出量削減>		
	ゴミ分別の徹底	ミーティング等での周知	○
	紙の使用量削減	コピー用紙の両面使用	○
	二次加工品の試作・商品化	惣菜アイテムの種類を増やす	○
	<CO ₂ 排出量削減>		
	冷暖房の温度設定管理	暖房22℃(室温基準で管理)	○
	休憩・不使用時の照明消灯	節電表示・周知	○
	運転時の急ブレーキ・急発進防止	車両等への表示・周知	○
	停車時のアイドルストップ	車両等への表示・周知	○
	※ 方針展開計画による		方針展開計画書
	<水資源投入量削減>		
	上水道・井水の使用量削減	節水表示・周知	○
	<食品廃棄物再生利用等実施率>※食品部のみ		
	おから返品商品の肥料・飼料化		○
	乾燥おからの生成		○
	二次加工品の試作・商品化	惣菜アイテムの種類を増やす	○
	<化学物質使用量削減>		
	灯油使用量の削減	ボイラー稼働時間の管理・暖房の温度調整	○
	<グリーン購入・製品サービス>		
	県内産原料商品の販促		△

評価	昨年に引き続きインスタグラム等のSNSの活用により、店舗の売上は昨年を維持できているが、コロナ禍による影響は大きい。 昨年より乾燥おからの製造を減らすことにより、ガスの使用量が大幅に削減できた。
次年度の取組内容	食品廃棄物の発生抑制に関する数値目標を設定する。 燃料費高騰により移動販売の販売ルートの見直しが必要。 県内産原料の商品の積極的な開発、新店舗での販促の推進。 実店舗以外のECサイト構築による販路拡大。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟の有無

環境関連法規遵守状況結果

法律条例名	該当要求事項	条 項 (法律・規則・施行令)	対象品・施設	対応事項	遵守状況	
					評価基準	判定
水質汚濁防止法	・特定施設は設置、変更前に届出 ・廃液の公共用水域への排出又は地下への浸透状況の把握。	法5,6,7条 法14の4	豆腐製造施設 パレ研磨施設 油・廃液貯蔵所 ドレイン(コンプレッサー・エアコン)	上伊那地方事務所へ特定施設の届出 ドレイン受け設置 ドレイン受け設置	届出書 現場確認	○
下水道法	・特定施設は設置、変更前に届出 ・水質の測定義務等 ・排除基準	法12の3 宮田村条例 宮田村条例	豆腐製造施設 パレ研磨施設	上伊那地方事務所へ特定施設の届出 年1回の水質検査実施	届出書 検査結果	○
騒音規制法	・特定施設は設置、変更前に届出 ・村の改善勧告、命令の遵守 他	宮田村条例	設備一覧 (環境マニュアル参照)	宮田村は特定施設の届出不要 (宮田村住民福祉課に確認済)	宮田村役場	○
振動規制法	・特定施設は設置、変更前に届出 ・村の改善勧告、命令の遵守 他	宮田村条例	設備一覧 (環境マニュアル参照)	宮田村は特定施設の届出不要 (宮田村住民福祉課に確認済)	宮田村役場	○
廃棄物処理法	・廃棄物置場の保管基準の遵守 ・廃棄物処理業者との産廃物委託契約締結 ・産廃物マニフェストの交付、回収、保管 ・発行したマニフェストの報告	法12条2 法12条5,6,7 法12条3 法12条3,7	ゴミステーション 廃液貯蔵所	産廃物置場の掲示及び管理 産廃物の処理委託及びマニフェスト管理 地方事務所への報告書提出 (毎年6月30日まで)	現場確認 マニフェスト 報告書	○
食品リサイクル法	・食品廃棄物等の発生の抑制 ・発生した廃棄物の再生利用	法4条	大豆製品全般	おからの再生利用 不良品の別製品への利用	現物確認	○
消防法	・危険物の貯蔵所、取扱所の届出 ・危険物取扱者の監督下における取扱 他 ・指定数量未満の届出	法10・11条 法14条 法9条	可燃物・有機溶剤・化学物質等一覧 別紙	一般取扱所届出 乙種危険物取扱者の配置 第四類第一石油類150ℓ届出済 第二石油類200ℓ以上は届出済	届出書	○
フロン排出抑制法	・第一種フロン類回収業者への委託 ・委託確認書(又は回収依頼書)を交付し3年間保存 また、引取証明書の交付を受けた時も3年間保存 ・第1種特定設備の定期的な点検の実施	法41条 法43条 法16条	フロン使用設備等一覧 別紙 (エアコン・コンプレッサー)	フロン類の廃棄は、第1種フロン回収業者に 引き渡す 委託確認書の管理 定期(年1回)・簡易点検(年3回)の実施	委託確認書 点検報告書	○
労働安全衛生法 (有機溶剤中毒予防規則)	・有機溶剤取扱場所での掲示 ・有機溶剤取扱い作業主任の選任	法24条 法19条	可燃物・有機溶剤・化学物質等一覧 別紙	有機溶剤使用についての注意事項の掲示 作業主任者資格者配置	現場確認 資格者証	○
PRTR法	・指定化学物質の排出及び移動量の把握及び届出	法5条	可燃物・有機溶剤・化学物質等一覧 別紙	使用量の集計。指定数量以下届出不要 作業員への取扱教育の実施・SDSの保管	集計実績 教育訓練記録・SDS	○
高圧ガス保安法	・300 m ³ (液化ガス3 t)以上の高圧ガス貯蔵所で第 一種貯蔵所以外の届出 ・定期自主検査の実施	法17条の2 法35条	高圧ガス等保管量一覧 別紙	指定量以上の保管なし 作業員への保安教育の実施 納入業者による年2回の検査実施	現場確認 教育訓練記録 検査実施記録	○
工場立地法	・敷地面積9,000 m ² 、又は建築面積の合計3,000 m ² 以上であれば、「特定工場」として届出	法6,11条	東工場1	上伊那地方事務所への届出済み	届出書	○
容器包装リサイクル法	・容器包装多量利用事業者の定期報告	法7条の6	食品部	日本容器リサイクル協会への再商品化委託申込	申込書	○

環境関連法規への違反はありません。

過去3年間及び4ヶ月の活動期間中、監督機関からの違反等の指摘はありません。

近隣からの苦情もありません。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

実施日 (西暦で記入)	2023年 4月 29日 13時 00分～ 13時 30分		
確認項目	報告内容(環境管理責任者)	評価	
環境目標 達成状況	<p>7項目の環境目標について、以下のような結果を報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 廃棄物排出量、水資源投入量、化学物質使用量削減の3項目は、目標を達成。特に化学物質の排出量は、外段取の洗浄液をソルベントに移行したことで、ホワイトガソリンの使用量を先期より更に減らすことができた。 - 二酸化炭素排出量、食品廃棄物再生利用等の実施率、不良損金、県内産原料商品の4項目は、目標を達成することができなかった。それぞれに計画を立て活動されていることは確認できたが、結果が伴わなかった。今後も改善を実施。 - 東第一工場太陽光発電は、年間トータルで110,484kwhを発電した。これは前年度よりも若干減少。 	<p>特定化学物質の排出量を削減できたことは大きな成果だと思います。それぞれの項目に対して計画的に活動していることは確認はできましたが、目標達成ができなかった項目もありました。</p> <p>しっかり要因を分析して引き続き目標達成に向けて取り組みをお願いします。</p>	
環境 内部 監査	法規制 遵守状況	環境内部監査実施結果参照	法規制の順守に関して問題がないことを確認しました。引き続き最新の情報を入手しながら法規制を遵守をすること、新たな法規制にも対処できるように進めて下さい。
	活動計画 実施状況	環境内部監査実施結果参照	活動計画に対してPDCAが回されしっかり活動がされていることが確認できました。
	その他	環境内部監査実施結果参照	EA21の活動が形骸化されることが無いように、継続的な活動をお願いします。
是正・予防処置 結果	環境委員会を中心に、定期的に委員会を開催し、是正・予防に努めている。	是正・予防処置について、継続して対応をお願いします。	
外部からの苦情とその 処理結果	特に苦情はなし。取引先からの要望等については、50件あり。品質保証課にて対応済み。(別紙受付台帳参照)	特に苦情は無いと言うことですが、取引先からの要望は50件あります。どれも確実な対応ができていましたので問題ありませんが、今後も同様の対応の継続をお願いします。	
自社に関わる 法規制の動向	特に自社に於ける法規制に違反はなし。	最新情報を入手しながら引き続き継続をお願いします。	
環境活動に対する 改善提案	<p>購入電力は二酸化炭素排出量の93.1%を占有している。電力使用量の省エネが推進されていることから、受電点のデマンド低減に向けた取り組みとして、次期は全社でエアコン温度の設定を見直し、コンプレッサーのエア漏れチェックやミストコレクターの稼働調整を実施する予定。食品廃棄物の発生抑制については、次期から数値目標を設定し、活動を進めていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「次期は全社でエアコン温度の設定を見直し、コンプレッサーのエア漏れチェックやミストコレクターの稼働調整を実施する予定」についてはデマンド低減にどのような成果が出たのかしっかりと数字で把握してください。 ・食品廃棄物の発生抑制について新工場の食堂を作ったことで大きな成果が想定されます。こちらも効果確認をお願いします。 ・自家消費型の太陽光パネル170kwが6月から発電開始されています。CO2排出量削減にどの位数値として効果が出せたのか確認願います。 	
客先からの 情報・要求	継続的に環境関連物質や調査について各メーカー様より連絡あり。処理に関しては適正に行った。	各要求に対して適切に対応したことが確認できました。	

確認項目	必要・不要	改善が必要な場合の理由	改善時期	
改善の 必要性	環境方針	必要 <input checked="" type="radio"/> 不要	特に必要なし	年 月
	環境目標	<input checked="" type="radio"/> 必要 <input type="radio"/> 不要	昨年度の数値を踏まえて計画をお願いします。	2023年 4月中
	環境活動計画	<input checked="" type="radio"/> 必要 <input type="radio"/> 不要	部署ごと昨年の反省を踏まえて計画をお願いします。	2023年 4月中
	環境経営システム	必要 <input checked="" type="radio"/> 不要	特に必要なし	年 月